

「第二期大竹市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査の結果について

1 調査の目的

子ども・子育て支援事業計画に掲載する今後5年間の「教育・保育」や「各種子育て支援事業」のニーズ量を算出し、目標量を定めるための基礎資料とするものです。ニーズ調査の項目は、あらかじめ国が必須項目で示したものに、一部市独自の設問を加えたものとなっています。

2 調査対象世帯数と回収率

	世帯数	回収数	回収率
就学前児童のいる世帯	800 世帯	431 票	53.9%
小学生児童のいる世帯	800 世帯	402 票	50.3%

※回答者は、就学前児童のいる世帯も小学生児童のいる世帯も「母親」が多い。）

3 調査結果に基づく主な傾向

＜就学前児童のいる世帯＞

- 「日頃子どもを預かってもらえる人がいない」の割合は 16.2%と一定割合を占めており、用務・外出先に「仕方なく子どもを同行させた」家庭も一定割合みられる。
⇒P 5, P 24
- 「子育てについて気軽に相談できる先」は、親族・友人など身内や近い人が多く、子育て支援センターや市役所の割合は低い。(小学生児童世帯も同様)
⇒P 6, P 46
- 人口減少傾向が強まる一方で、全国的に母親の就業率が増加傾向にあるため、保育ニーズも高まる傾向がある。また・保育所だけでなく認定こども園や幼稚園の利用意向も比較的高い結果となっている。
⇒P 7, P 14
- 病児保育（広島西医療センター）の利用は少ないが、利用意向は高い。
⇒P 19, P 20
- 一時預かりなどの不定期な保育サービスの利用はそれほど多くないが、潜在的ニーズはある。
⇒P 21, P 23
- 「子どもが小学校に上がってからの放課後の過ごし方」は、就学前児童世帯では、子どもが低学年の時は「放課後児童クラブ」希望が多く、高学年になると「自宅」希望が多い。
⇒P 25, P 26
- 「日頃悩んでいること」の上位は「子どもの食事や栄養のこと」「子どもの病気や障害・発育・発達のこと」「子どもと接する時間や余裕が十分に持てない」の順となっている。
⇒P 27
- 「子育ての悩み相談先（家族や友人などを除く）」の上位は「学校・保育所・幼稚園・認定こども園」「市役所」「子育て支援施設」となっている。(小学生児童世帯も同様)
⇒P 29, P 63

- 「子育てに関する情報入手先（友人・知人などを除く）」の上位は「インターネット」で、市の情報発信媒体（広報・ホームページなど）は下位となっている。（小学生児童世帯も同様）

⇒P 3 0, P 6 4

- 「市の子育て支援」に対する印象として、「公園や道路、公共施設、店舗などが子育て世帯に配慮されている」「子ども同士や親子が遊んだり過ごす場所が充実している」を「いいえ」と答えた世帯が多い。（小学生児童世帯も同様）

⇒P 3 5, P 3 7, P 6 9, P 7 1

- 自由意見欄の記述で多かったのは「公園や遊び場の管理・整備に関すること」「夜間医療や救急医療など子どもの病院に関すること」「医療費や給食費の減免・無償化などに関すること」「病児・病後児保育の利用・サービス内容に関すること」「歩道の整備に関すること」など。

⇒資料4-2参照

《小学生児童のいる世帯》

- 「日頃子どもを預かってもらえる人がいない」の割合は 14.4%と一定割合を占めている。

⇒P 4 5

- 「子どもが小学校に上がってからの放課後の過ごし方」は「自宅」が多い。

⇒P 5 2

- 長期休暇期間中に放課後児童クラブの利用を希望する小学生児童世帯の割合は4割弱。また現在利用中で、子どもが高学年になっても利用したい世帯の割合は約6割となっている。

⇒P 5 5

- 病児保育（広島西医療センター）は利用も利用意向も少ない。

⇒P 5 9, P 6 0

- 「日頃悩んでいること」の上位は「子どもと接する時間や余裕が十分に持てない」「子どもの友人関係、登園・登校に関すること」「子育ての出費など経済的な負担」の順となっている。

⇒P 6 1

- 自由意見欄の記述で多かったのは「安心して遊べる公園や遊び場の整備に関すること」「放課後児童クラブの利用・サービス内容に関すること」「通学路の安全に関すること」など。

⇒資料4-2参照